

令和4年度 第20回 「駒ヶ根市文化財団奨励賞」

1. 受賞者 **田中 邦治** 氏(個人)
- | | |
|------|---|
| 住 所 | 駒ヶ根市北町 |
| 年 齢 | 71歳 |
| 職 業 | グラフィックデザイナー |
| 主な経歴 | 多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業
日本鱗翅(りんし)学会会員
市立博物館専門研究員
天竜かっぱ広場運営委員 |

2. 選考理由

幼少期より自然に親しみ、特に昆虫分野に目を向けられて、その生態や構造についての調査研究活動を、郷土伊那谷で長年に亘り続けられている。調査活動により採集されたチョウを始めとする多種類の昆虫の標本は、観察記録と共に博物館に寄贈された。駒ヶ根市誌「自然編」では、昆虫担当編纂委員も務められた。

毎年夏に開催する、博物館・おもしろかっぱ館・公民館の講座「昆虫教室」では、平成13年度より講師を務められ、地域の子どもたちに採集・飼育の方法や、標本の作製方法などを教えられている。

子どもへの指導は実地活動に留まらず、本業のグラフィックデザイナーの分野で、保育・幼児教育向けの「早太郎絵本」の作成や、東中学校では創作授業でデッサンの指導が行われている。

グラフィックデザイナーの活動は全国的に展開されており、1994 アジア大会広島メダルデザイン最優秀賞、1999 東京都あきるの市シンボルマークコンペ採用、2001 岡山国体シンボルマーク最優秀賞を始め、長野冬季オリンピックデザイン検討委員も務められる等々の活躍である。

駒ヶ根市においても、市政施行50周年記念のシンボルマークや、ソースかつ井のロゴマークを手掛けられる等、デザインから地域活性化に貢献されている。

類まれなスケッチ力やデッサン力を駆使して描かれる「昆虫細密画」は、今にも動き出しそうな精密な描写であり、一昨年以來開催されている数々の個展や展覧会で絶賛を博している。

昆虫細密画のデッサンやシンボルマーク作成による「文化芸術活動」を始めとし、長年に亘る「自然観察活動」、子どもたちへの指導における「青少年健全育成活動」を総合して、その功績をたたえると共に、今後益々のご活躍を祈念して、文化財団奨励賞を贈呈いたします。

令和5年3月

公益財団法人駒ヶ根市文化財団